９インチワンセグ付
ポータブルナビゲーション
OT-TN98K用

ナビゲーション操作説明書

Ver 1.0

※製品本体の基本操作については、
別冊「本体操作説明書」をご覧ください。

- この度は、９インチポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

目　次

1. はじめに ---------- 2
2. 安全上のご注意 ---------- 3
3. ナビゲーションの使い方 ---------- 4
   3-1. ナビゲーションの起動と終了 ---------- 5
   3-2. 地図画面の説明 ---------- 7
   3-3. 現在地の表示 ---------- 9
   3-4. 受信状況の確認 ---------- 10
   3-5. 地図画面の操作 ---------- 11
   3-6. 地図画面から他の画面への移動 ---------- 14
   3-7. ナビ走行 ---------- 15
   3-8. 経由地の登録 ---------- 20
   3-9. ルート検索 ---------- 22
   3-10. デモ走行 ---------- 24
   3-11.ナビ走行中の画面 ---------- 27
   3-12.保存したルートの利用 ---------- 31
   3-13.周辺施設検索 ---------- 33
   3-14.地点登録 ---------- 34
   3-15.自宅登録・自宅へ戻る ---------- 36
   3-16.ナビメニュー ---------- 39
   3-17.検索モード ---------- 40
   3-17-1.住所検索 ---------- 41
   3-17-2.施設検索 ---------- 44
   3-17-3.電話番号／マップコード検索 ---------- 46
   3-17-4.登録地点 ---------- 48
   3-17-5.目的地履歴 ---------- 51
   3-18.るるぶDATA ---------- 52
   3-19.設定 ---------- 56
   3-20.入力パネルの使い方 ---------- 59
   3-21.ウォーキングナビ ---------- 60
   3-22.交通安全案内（安全運転支援情報表示機能） ---------- 63
   3-23.よくある質問 ---------- 65
4. 制限事項 ---------- 67
5. GPSの基礎知識 ---------- 68
6. お問い合わせ先 ---------- 69

1. はじめに

この度は、当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。
本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますＧＰＳによるナビゲーションシステムは、
衛星よりの位置情報を捕捉することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。
従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と
目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なります
のでその特性をご理解の上、ご使用くださいますようお願い致します。

＜＜GPSナビゲーションの特性＞＞

①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合もあります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を捕捉する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
③電源をOFFする際、スリープモードと電源ＯＦＦ（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと
測位完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対に
おやめください。
⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を
入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなる
ため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと
呼びます。）いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの
受信は速くなります。

2. 安全上のご注意

●ご使用の注意

・歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないでください。
・ルート案内中でも、常に実際の交通規則、道路状況に従ってください。
・一方通行表示についても実際の交通規制標識・標示などを優先してください。

●その他のご注意

・ＧＰＳ電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）ではナビゲーション機能は利用できません。また悪天候、車内 の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
・ＧＰＳ衛星は、米国国防総省により運用されていますが、ＧＰＳ衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にカー電源を接続することをお薦めします。
・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
・初回の充電は電源ＯＦＦにして充電し、高温、高湿度の場所での充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも２週間に１度など定期的な充電をお薦めします。
・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性があります。登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお薦めします。

●免責事項

・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

●最新地図搭載

本製品は、完成予定も含め最新道路地図をもとに作成していますが、まれに実際の道路と違う場合があります。実際の道路にしたがって安全に走行してください。

ナビプログラムや取扱説明書、パッケージ等は予告無く変更する場合があります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

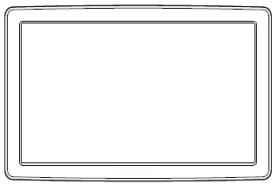
3. ナビゲーションの使い方

本製品のナビゲーション地図ソフトは内蔵メモリーに搭載されております。
電源ボタンがONされていることを確認して、メインメニューから
「ナビゲーション」ボタンを画面タッチします。

①本体の電源ジャックに、車載用DCアダプターのプラグを接続します。

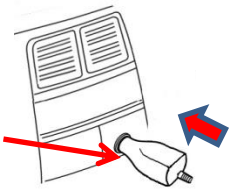
車載用DCアダプター
の端子をさす。

電源用端子
（miniUSBタイプ）



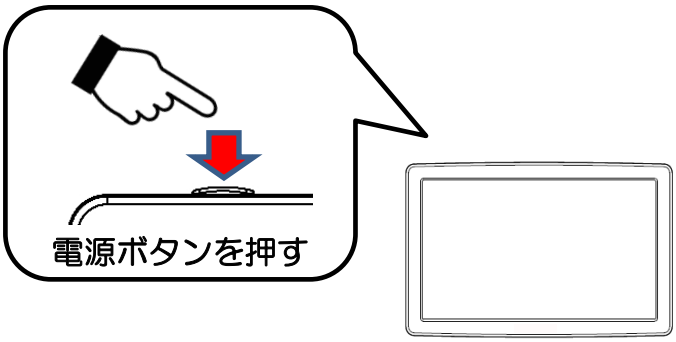
車載用ＤＣアダプターを
車のシガーソケットにさす。

DC電源アダプター



②電源ボタンを軽く長押しすると、
電源が入ります。
電源を切る時は、再度電源ボタンを
長押しします。

③操作は、各メニューを画面タッチ
することにより動作します。



（注意）ダブルタッチを頻繁に繰り返しますと、ＣＰＵに負荷がかかり
システムエラーが発生する場合があります。
（システムエラーからの回復は、本体のリセットボタンで行ってください）

ナビプログラムやマニュアル、パッケージ等は予告無く変更する場合が
あります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

≪ナビゲーションのご使用の前に≫

ご使用の前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。
屋外の上空の開けた場所で、現在地を表示するまでお待ちください。
初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、数十分かかる
場合があります。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して「設定」→「GPS情報」をタッチすると受信状況が確認できます。
（本体取扱説明書の「GPS情報」参照ください。）

設定ページ

3-1. ナビゲーションの起動と終了

ナビゲーションの起動と終了の方法を解説します。

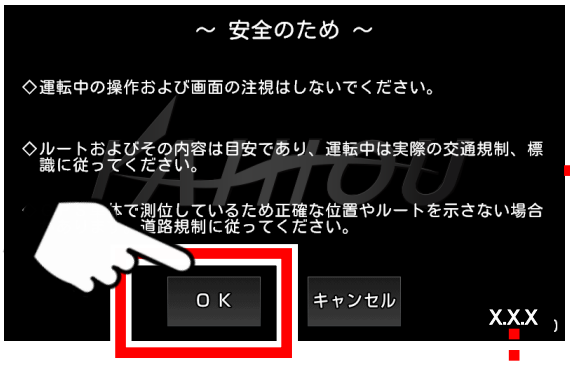
●ナビゲーションの起動

① メインメニューの「地図」ボタンをタッチします。

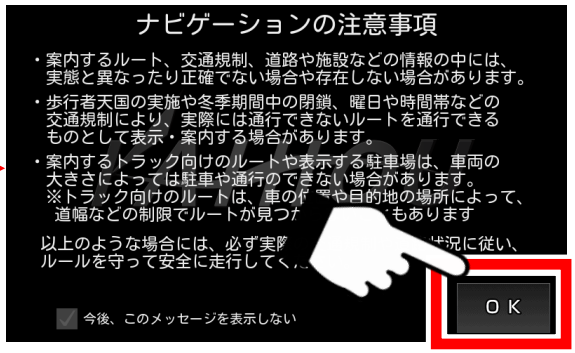
ナビゲーションの起動ボタン

② ナビゲーション使用上の注意事項が表示されますので、内容をよくお読みにください。
以降、「OK」ボタンをタッチすることにより、次の２つの説明画面が表示されます。それぞれ、よくお読みください
- ナビゲーションの注意事項
- カーモード/トラックモード

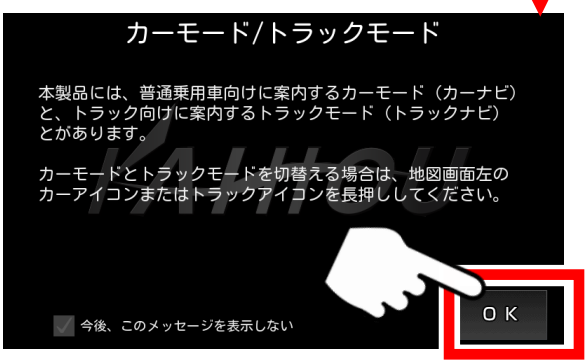
その後、地図画面が表示されます。



OKボタン　　バージョン番号



ナビゲーションの注意事項



カーモード/トラックモード

地図画面表示

【カーモード/トラックモードについて】

カーモードは一般的なカーナビ、トラックモードはトラック向けのナビです。
案内ルートに以下のような特色があります。

- カーモード：
  普通乗用車が走行できる道路で案内します。

- トラックモード：
  トラックが走行できる道路を優先して案内します。
  幅員の狭い道路はトラック走行不可能と判断し、ルートで採用されません。

≪カーモード/トラックモード切替≫

このアイコンを長押しすると、カーモードとトラックモードが切替わります。

- トラックモード（ナビ）に切り替えるときは、カーモードアイコンを長押ししてOKボタンを押すと切り替わります。
- カーモード（ナビ）に切り替えるときは、トラックモードアイコンを長押ししてOKボタンを押すと切り替わります。

カーモード

トラックモード

●ナビゲーションの終了

① 地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチしメニュー画面を表示します。

② メニュー画面の右下の「終了」ボタンをタッチすると、メインメニューに戻り、ナビゲーション機能は終了します。

MENUボタン

終了ボタン

メインメニュー画面

地図画面の各機能と見方を解説します。

●地図画面の各ボタンの名称

下記マークが表示されていない場合は画面のどこかをタッチしてください。

※「自宅を登録」ボタンは、「3-15.自宅登録・自宅へ戻る」を参照願います。

●地図の中心マークの違いについて

：十字あり緑色のマーク。GPSを受信してない状態です。

：十字なし赤色のマーク。GPSを受信中です。
地図が現在地を表示していないときは、衛星を捕捉中です。
しばらく待つと、地図が現在地に移動します。

：自車のマーク。GPSを受信中で、方向も取得出来ている状態。
設定モードから矢印マークを変更することが出来ます。

≪傾斜状態≫

走行中の道路の傾斜状態の目安を地図上に表示します。

・走行中の道路が**上り坂状態**　・走行中の道路が**水平状態**　・走行中の道路が**下り坂状態**

※本機能はGPS衛星からの位置情報を基に計算をしています。
３秒前のGPSの高度情報と比較し、上り・下り・平坦の3パターンで表示します。

天気、周囲の建物等の受信環境、 GPS衛星の位置等により数値が変わることがあり実際の情報とは異なる場合があります。走行中の目安としてご利用ください。
トンネル走行時などのGPSが受信できない場合やデモ走行時は、機能しません。

≪トンネルアシスト機能≫

トンネルに入ってGPSが受信できなくなったとき、トンネル進入時の速度を保った状態で、自車の位置が移動し続けます。
ナビ走行中に限って動作する機能で、作動中は本来の位置ではないため、自車のマークの色を変更して区別しています。**（矢印→グレー、それ以外→水色）**

3-3. 現在地の表示

GPSを有効（衛星を捕捉）にして、現在地を表示する方法を解説します。

① 地図画面の左下の「現在地」ボタンをタッチします。

現在地 現在地ボタン

現在地の表示は、必ず屋外の見晴らしの良い場所で行ってください。
室内ですと、GPSの電波を受信出来ません。

② 衛星の捕捉が始まります。

衛星の捕捉中を示す画面が中央に現れます。この状態でしばらく待ちますと、現在地へ地図が移動します。

「中止」ボタンをタッチすると、衛星の捕捉を中止します。

③ 衛星が捕捉されると現在地へ地図が移動します。

地図画面には住所が表示されます。おおよその場所を表示しているので、〇〇〇 付近としています。

（注）現在地の表示は、お買い上げ時、または長時間使用していなかった時に行いますと、数分かかる場合があります。
通常使用時でもGPSの電波の受信状況により、数分かかる場合もあります。
予めご了承下さい。

●時刻合わせについて

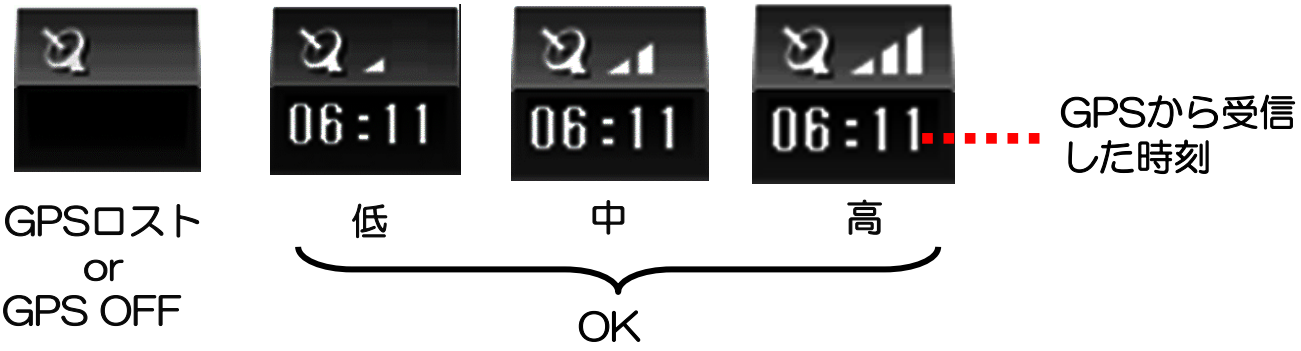
時刻はGPSの電波に含まれている時刻を受信したとき 「衛星配置図」 の中に表示されます。お客様自身で、時刻を合わせる必要はありません。

3-4. 受信状況の確認

GPS受信状況と衛星配置図の表示方法を解説します。

●地図画面の衛星配置図でGPSの受信状況を確認

（注）「衛星配置図」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので一度タッチすると現れます。



実際の状況が反映されて表示されるまで、多少のタイムラグがあります。

●「衛星配置図」 ボタンをタッチして衛星配置図を確認

「衛星配置図」 ボタン

衛星配置図画面

黄色や赤色のマークが少ないときは、GPSの受信状況がよくないことを表しています。受信する場所を変えるなどしてみて下さい。
「現在地」ボタンか、「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。

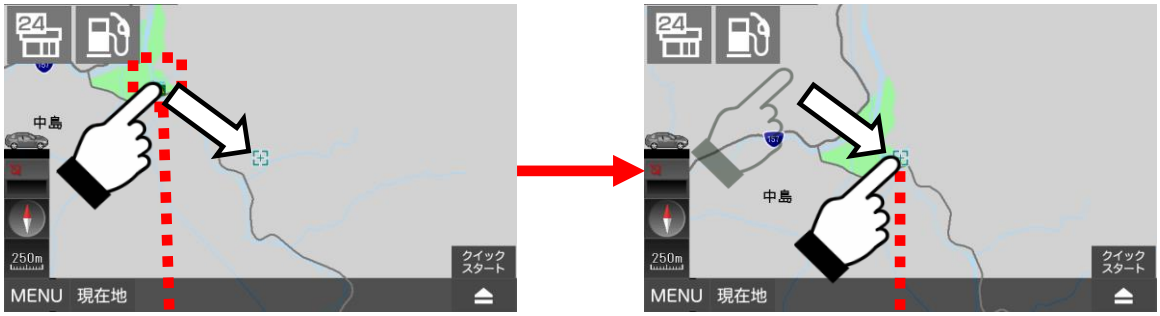
衛星マークの色	黄色	赤色	灰色
衛星受信状況	○	△	×

3-5. 地図画面の操作

地図の移動、拡大縮小、ビュー変更の方法を解説します。

●地図の移動

地図の上をタッチしたまま指をすべらせると画面が指に沿って移動します。
指を離すと、画面が止まります。



ここをタッチしたまま
指をすべらせる。

地図のタッチした場所が移動する。
移動させたい場所に来たら指を離す。

※指をすべらせて地図画面を移動させるときは、指をゆっくりと移動させてください。
早く動かすと地図画面が追従しない場合があります。

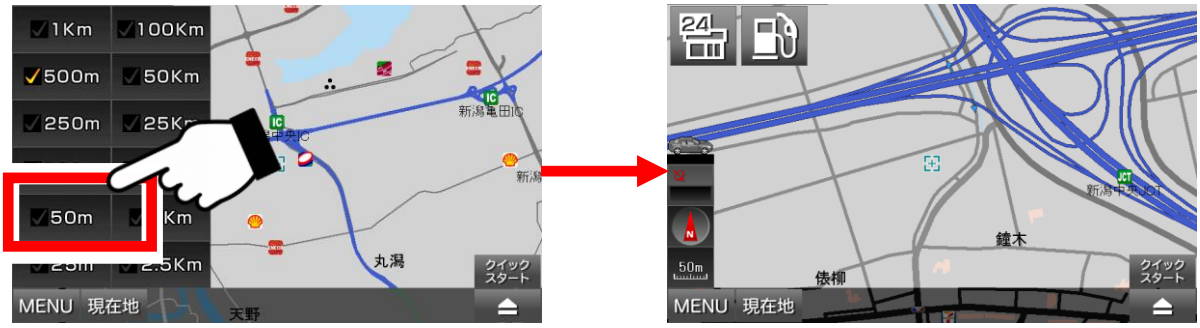
●地図の拡大縮小

① 地図画面の左の「縮尺変更」ボタンをタッチします。

（注）「縮尺変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので一度タッチすると現れます。

「縮尺変更」ボタン
（中の数字は現在の尺度）

② 縮尺パネルから表示したい縮尺をタッチします。



縮尺パネルは一定時間経つと、自動的に隠れます。

●地図表示の変更

地図の表示方法を「平面（2種類）」、「立体」表示に切り替えます。

（注）「地図表示変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「地図表示変更」ボタンをタッチする毎、地図の表示が切り替わります。

平面（ヘッドアップ）

自車の進行方向が上に固定され、地図が回転します。
赤い針が指す方向が北。

平面（ヘッドアップ）

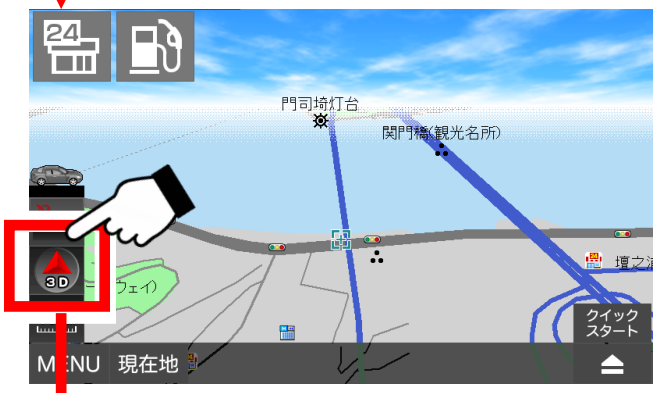
平面（ノースアップ）

地図の北方向が上に固定され、自車が回転します。

平面（ノースアップ）

立体

平面（ヘッドアップ）の立体表示です。
空から見下ろしたように見える3D的な地図表示。



立体

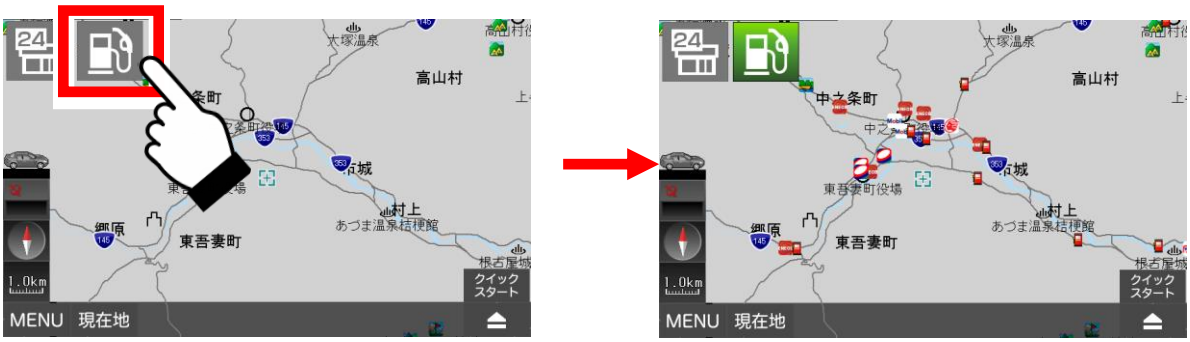
平面（ヘッドアップ）表示へ戻る

●ガソリンスタンドの表示

「ガソリンスタンド表示」ボタンをタッチすると、地図上にガソリンスタンドのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「ガソリンスタンド表示」ボタン

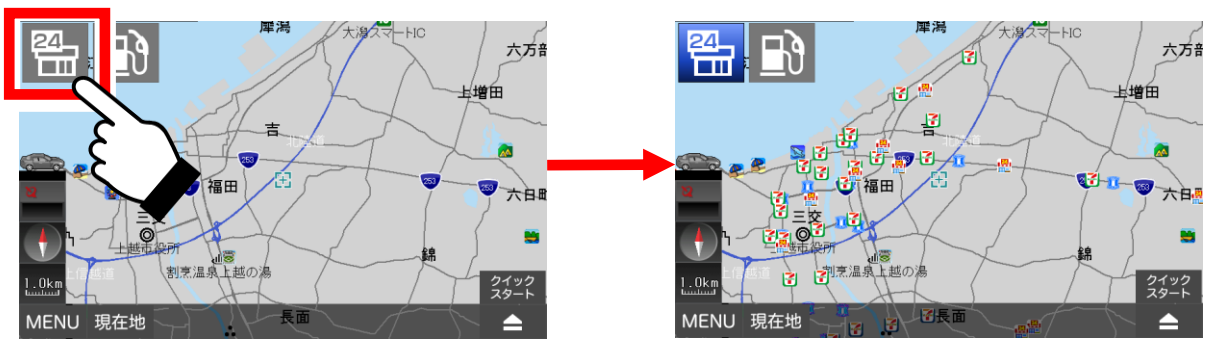


●コンビニの表示

「コンビニ表示」ボタンをタッチすると、地図上にコンビニのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「コンビニ表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「コンビニ表示」ボタン



（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンと「コンビニ表示」ボタンは、縮尺が「2.5km」以上のときは表示されません。
（ガソリンスタンド、コンビニのデータは地図作成時のものです。）

3-6. 地図画面から他の画面への移動

地図画面からナビメニュー画面へ移動する方法を解説します。

●ナビメニュー画面へ移動する

地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニュー画面へ移動します。

「MENU」ボタン

地図画面

ナビメニュー画面

（注）地図画面の道路が途切れている場合について

地図を縮小していくと、画面に表示するエリアが大きくなり、情報量が増加していきます。それによって処理が遅くなることを防ぐ為に、地図上に表示する情報量を減らすことで、対応しています。
地図上で、道路が途中でなくなっている場合、実際にはその先も道路は存在しており、地図を拡大していくことで表示されます。

縮尺250m

縮尺100m

実際にナビを行う方法を解説します。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所表示するにはナビメニューからも可能です。

② 右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。

ナビ用パネル

③「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。

ゴールの旗　　ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

※ 目的地に行く前に立ち寄りたい場所がある場合や、特定の場所を経由して目的地に行きたい場合は、経由地を登録してください。

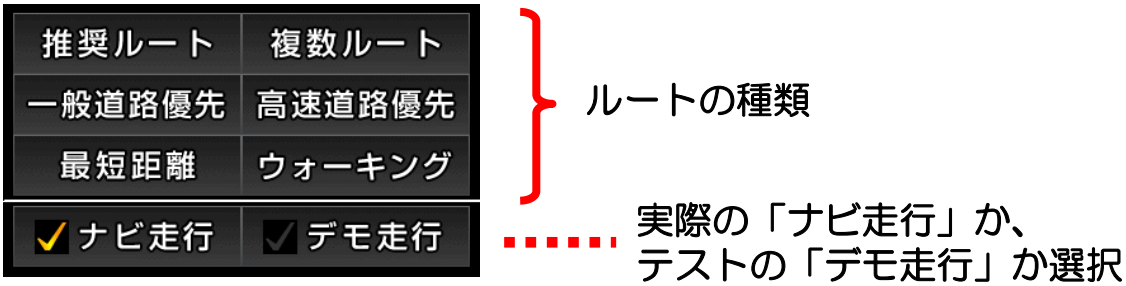
経由地は４ヶ所まで登録できます。
経由地画面の詳しい使い方は、「3-8 経由地の登録」を参照してください。

④ ルート検索パネル（③）の「ナビ走行」にタッチし、チェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。

ルートの種類を選択

（注）経由地を登録した場合は、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすれば、ルート検索パネル画面になります。

●ルート検索パネルについて



【ルートの種類について】

- 推奨ルート　：ナビが自動的に最適なルートを選択します。
- 一般道路優先：有料道路を避けて、一般道路を優先したルートを選択します。ただし目的地までの道のりが長距離のときは、有料道路を使う場合があります。
- 高速道路優先：有料道路を優先したルートを選択します。
- 最短距離　　：道路の大小に関わらず、目的地までの最短距離のルートを選択します。
- 複数ルート　：一般道路優先、高速道路優先、最短距離のルートを一度に表示します。
- ウォーキング：徒歩走行にあったルートを選択します。このとき音声ガイドは流れませんので、ご注意下さい。

⑤ ルートの種類を選択すると現在地から目的地までのルート検索が始まります。

現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。

ルート
水色：一般道
黄色：高速道路

ルートの距離と所要時間
（あくまで目安とお考え下さい）

●ルートの距離と所要時間

走行速度を設定して計算し直す機能はありません。
道路の道幅・制限速度・交差点数などを考慮して、目安として計算していますので、実際とは異なる場合がございます。予めご了承下さい。

●ナビ走行の中止

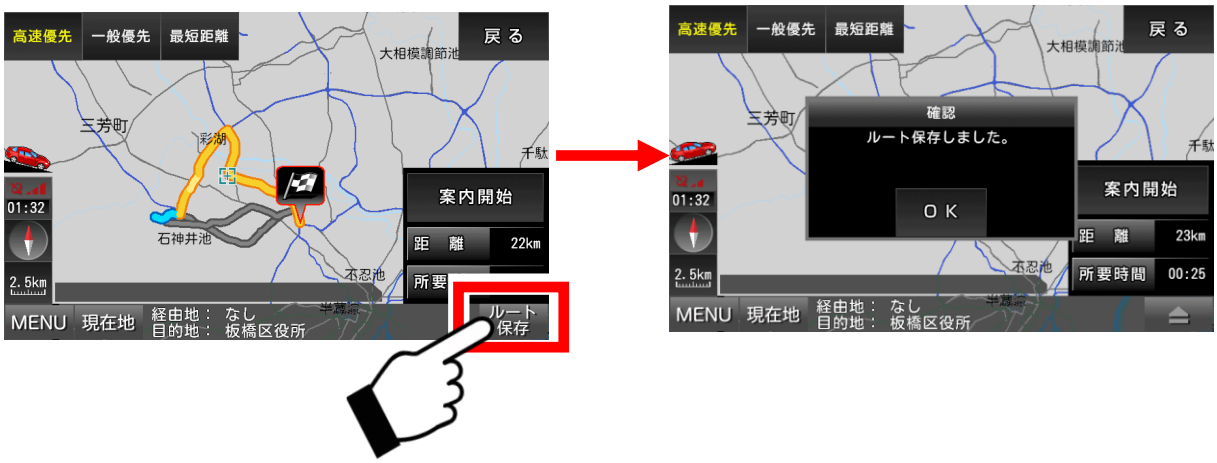
ナビ走行中、左下の「現在地」ボタンが「ナビ中止」ボタンに変わります。これをタッチすることで、ナビ走行を中止することができます。

●クイックスタート

右下の「クイックスタート」ボタンをタッチすると、現在の地図の中心地が目的地に設定されて、ルート検索パネル画面が表示されます。

●ルートの再利用

「ルート保存」ボタンをタッチすることで、表示しているルートを保存し
再利用することができます。
ルートは「カーモード」「トラックモード」それぞれで別々に保存されます。
各モード最大10件まで保存できます。
利用方法は、「3-12. 保存したルートの利用」をご覧ください。



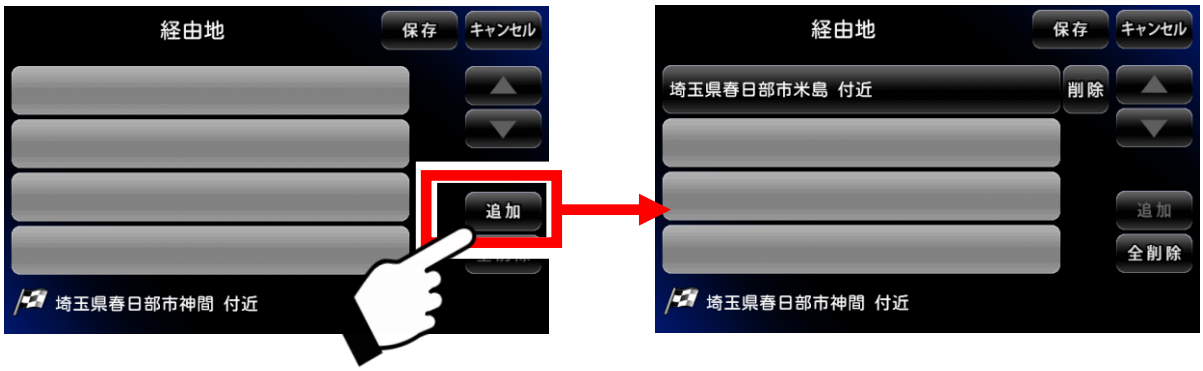
3-8. 経由地の登録

経由地の設定方法について解説します。

●経由地の設定

① 経由地として登録したい位置を地図の中心にし、「ナビ用パネル」の「経由地」ボタンをタッチします。

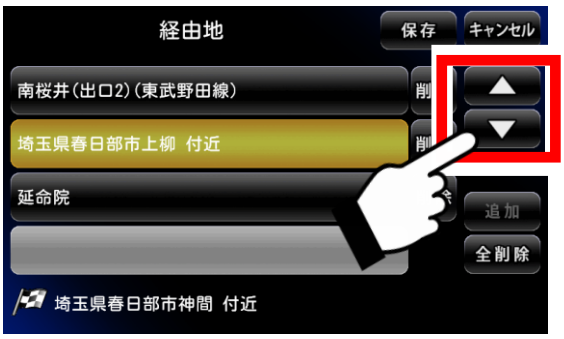
② 経由地画面で「追加」ボタンをタッチします。



地図中央の概要住所が経由地の名称として表示されます。
ナビメニューにある検索機能や登録地点、目的地履歴から地図画面に遷移し、経由地を設定することができます。
この場合、検索した名称が経由地の名称として表示されます。

●経由地の入替

① 経由地を複数ヶ所設定した場合、経由地の順番を入替えることができます。



移動したい経由地をタッチすると選択状態になります。
「上下」ボタンで順番を変えることができます。

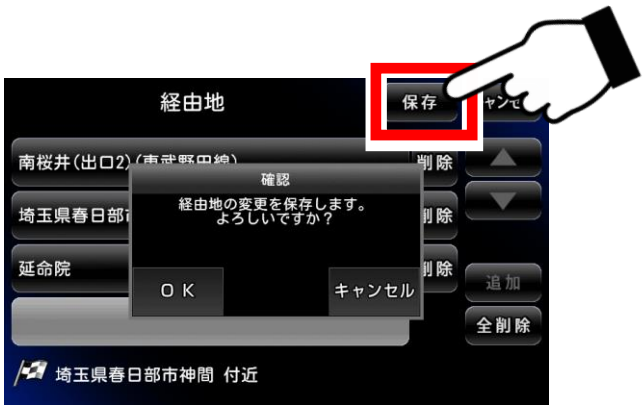
●経由地の削除

① 不要な経由地は、取り除くことができます。

「削除」ボタンは対象の行を削除します。
「全削除」ボタンは、全ての経地を削除します。

●経由地の登録

① 「保存」ボタンをタッチすると確認画面が表示され、「OK」ボタンで経由地が登録されます。



「キャンセル」ボタンをタッチすると確認画面は消え、経由地画面に戻ります。
経由地画面右上の「キャンセル」ボタンをタッチすると、経由地画面での作業はキャンセルされ、経由地画面表示前の経由地状態に戻ります。

複数ルートとルート検索時の注意点について解説します。

●複数ルートについて

複数ルートを選ぶと、高速道路優先、一般道路優先、最短距離の３つのルートが合わせて表示します。
左上のボタンをタッチして、好みのルートを選んでください。ルートによっては、３つのルートが同じものになる場合もあります。

※ルート線の色は、一般道路は水色　高速道路は黄色に色分けされます。

●ルート検索について

ルート検索に失敗した場合は、現在地を表示できるか確認して下さい。
それでも失敗する場合は、目的地をずらして再度、ルート検索を行ってください。

「カーモード」「トラックモード」それぞれで通行可能な道路を選んでルート検索します。
出発地が通行可能な道路から離れている場合は、出発地から離れた場所でルート案内が始まります。また、目的地が通行可能な道路から離れている場合は、目的地から離れた場所でルート案内が終了します。

●ルート再検索（リルート）機能

ルートからある程度外れると、リルート検索を開始します。
ただし、車の速度やGPSの受信状況により、リルート検索に時間がかかることがあります。
また、右左折の方向案内が交錯することがありますので、ルートが安定してからの案内に従ってください。

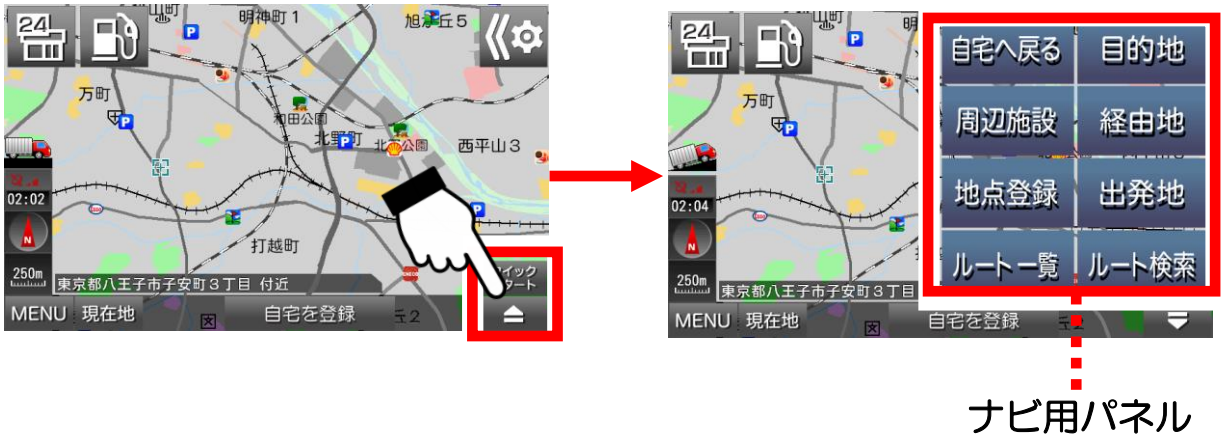
3-10. デモ走行

ナビ走行のテストを行うデモ走行の方法を解説します。

① 地図を移動して出発したい場所を中心にします。

ナビ走行のときは、出発地は自動的に現在地となりますが、デモ走行では、出発地も自由に設定することができます。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



③「ナビ用パネル」の「出発地」ボタンをタッチします。

出発地として設定され、青い旗が立ちます。

※ナビ走行と同様、経由地を設定することができます。
経由地画面の詳しい使い方は、
「3-8 経由地の登録」を参照してください。

④ 続いて、地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

⑤ 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。

ナビ用パネル

⑥「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。

ゴールの旗　ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

⑦ ルート検索パネルの「デモ走行」にタッチしてチェックを付けて
ルートの種類を選んでタッチします。

ルートの種類を選択

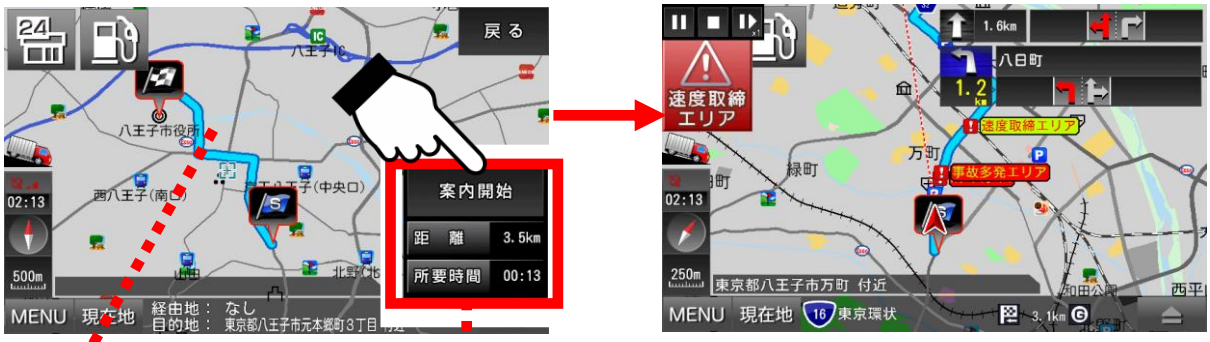
（注）目的地を設定済みならば、ナビ用パネル
「ルート検索」ボタンをタッチすれば、
ルート検索パネル画面になります。

⑧ 出発地から目的地までのルート検索が始まります。

ルート検索には多少の時間がかかります。

（注）デモ走行で、ルート検索が失敗する
ときは、出発地と目的地の両方とも
設定してあるか確認してください。

⑨ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、自動的にデモ走行が再生されます。



ルート
水色：一般道
黄色：高速道路

ルートの距離と所要時間
（あくまで目安とお考え下さい）

3-11. ナビ走行中の画面

ナビ走行中の画面について解説します。

●ナビ走行中の画面の説明

※道路名と交差点名の表示について

地図画面上に、道路名と交差点名は表示されません。ナビ走行（デモ走行）をしているときに、現在走行中の道路名と次の交差点の名称がデータに存在する場合に限り表示します。予めご了承下さい。

●デモ走行中の操作ボタン

デモ走行のときのみ、左上に操作ボタンが表示されます。

一時停止　停止　早送り（5段階で変化）

早送りボタンをタッチすると、車の移動が5段階で変化します。
「1倍速→2倍速→3倍速→4倍速→5倍速→1倍速に戻る」

●出発地・目的地・経由地の削除

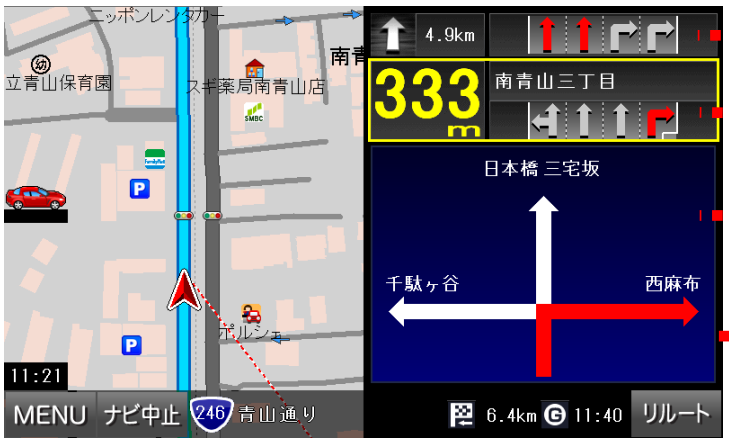
ナビ走行で目的地に到着し案内が終了すると、出発地、目的地、経由地は削除されます。

●オービスについての注意点（安全運転支援情報表示機能）

本ナビのオービス機能は、電波を検知して知らせるのではなく、地図のデータとして埋め込まれていて、それを案内しています。
よって、オービスが実際は存在するのに、案内が行われない場合もございます。また、反対車線のオービスに反応して案内することもございます。
オービスが近くなると音声で「制限速度に注意して下さい」と案内しますが、交差点の音声案内が優先されて、その音声が流れない場合もございます。
予めご了承下さい。

●交差点案内

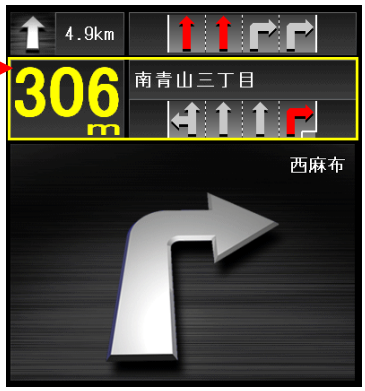
ナビ走行中に交差点が近づいてくると、地図画面の右半分に「分岐案内図」が表示されて、さらに近づくと交差点の「拡大地図」が表示されます。
そして右左折の音声案内が、直前・300m・500mの手前で流れます。
さらに次の交差点情報の枠と地図画面の右左折地点が、黄色で点滅します。



その次の交差点情報

次の交差点情報
（黄色で点滅）

分岐案内図



設定の「基本設定」で交差点案内を「矢印」にしている場合

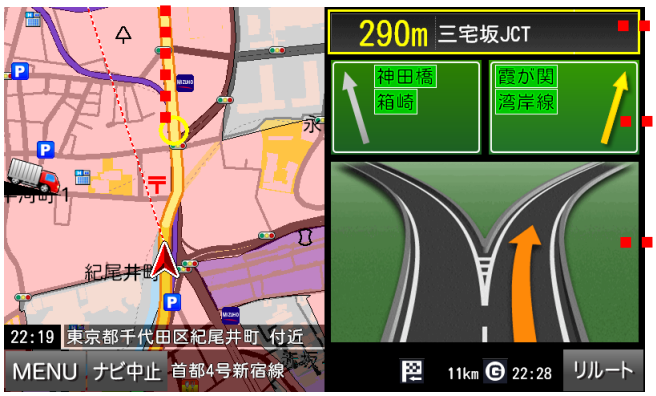
右左折地点が黄色の円で点滅

拡大地図
（交差点案内の設定が「矢印」の場合は、表示されません。）

●高速道路案内

ナビ走行中、高速道路を利用する場合は、分岐案内、施設案内が表示されます。
音声案内は、直前と300m、500m、1km、3km手前で行われます。
次の分岐地点・次の高速施設までの距離枠と、地図上の高速施設・分岐地点が黄色で点滅します。

分岐地点が黄色の円で点滅



分岐までの距離・名称
（黄色で点滅）

分岐案内看板

分岐イメージ

ひとつ先の施設へ

施設案内
- 種類と名称
- 距離
- 予想通過時間

（黄色で点滅）

ひとつ前の施設へ　　施設案内表示を元に戻す

●経由地スキップ

画面左上のスキップボタンをタッチすることにより、１つ先の経由地を目標にすることができます。スキップボタンは自車がルートにのってから表示されます。ナビ走行中、目的地方向線（赤点線）は、次に向かう経由地（または目的地）の方向を指します。

※経由地に立ち寄るのをやめた場合や、GPS感度低下などにより経由地付近が判断できなかった場合に利用します。

※自車が目標としている経由地付近に来ると、経由地に到着したと見なし、目的地方向線は自動的に次の経由地を指します。

3-12. 保存したルートの利用

保存したルートの利用方法について解説します。

●保存したルートの利用

① 「ナビ用パネル」の「ルート一覧」ボタンをタッチします。

保存したルートが一覧表示されます。
※使用中のモードでの保存ルート

② ルート一覧のルートをタッチすると、そのルートが地図上に再現されます。

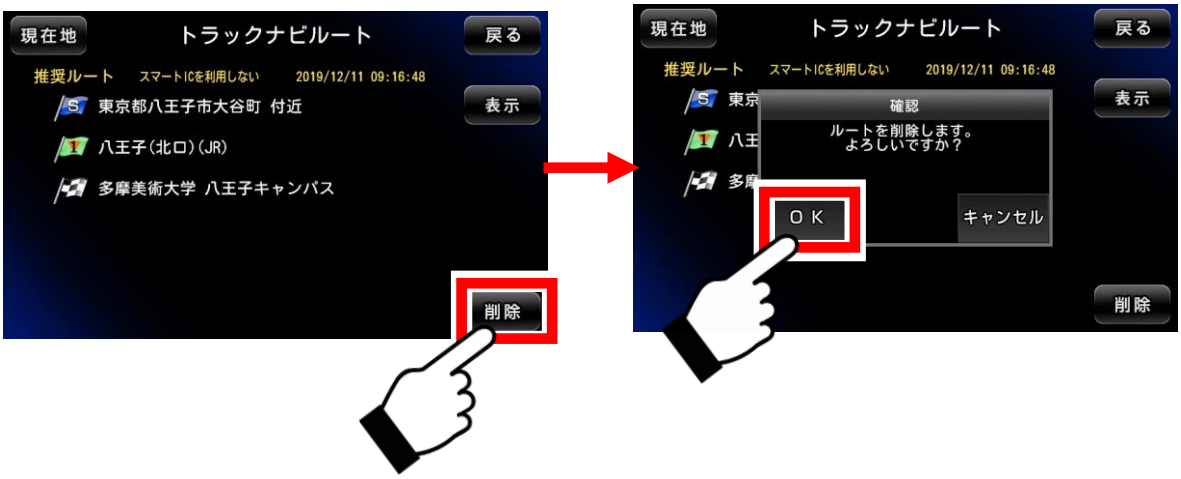
トラックモードの場合、自車位置が保存したルートの始まりから一定距離以上離れていると、ルートの始まりまでルートを引きなおします。
ルートの始まりには仮の旗を表示します。

ルート一覧から地図上にルートを再現すると、それまでの目的地、経由地の設定は失われます。ご注意ください。

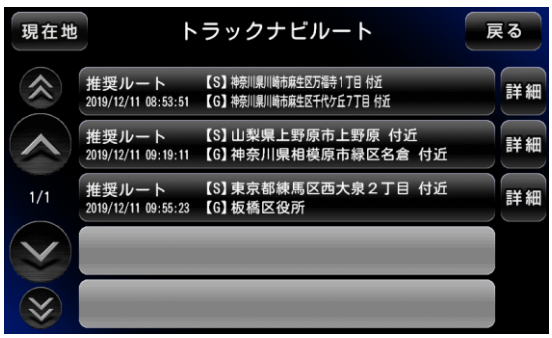
●保存したルートの削除

① ルート一覧で「詳細」ボタンをタッチすると、そのルートの内容が表示されます。

② 「詳細」ボタンをタッチすると、確認画面が表示されるので「OK」ボタンをタッチします。



③ ルート一覧画面に戻り、削除が完了します。



3-13. 周辺施設検索

周辺施設の検索について解説します。

周辺施設のボタンをタッチすると、地図の中心から距離の近い順に10km圏内で500件までの施設を検索することが出来ます。

① 地図画面上で検索したい場所を中心にして「周辺施設」ボタンをタッチします。

② 検索画面からジャンルを選び、リストから施設名をタッチします。

③ 選んだ施設がある地図へ移動します。

※周辺施設データは、全てをカバーしているわけではありません。
　目的のデータが存在しない場合もございます。
また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-14. 地点登録

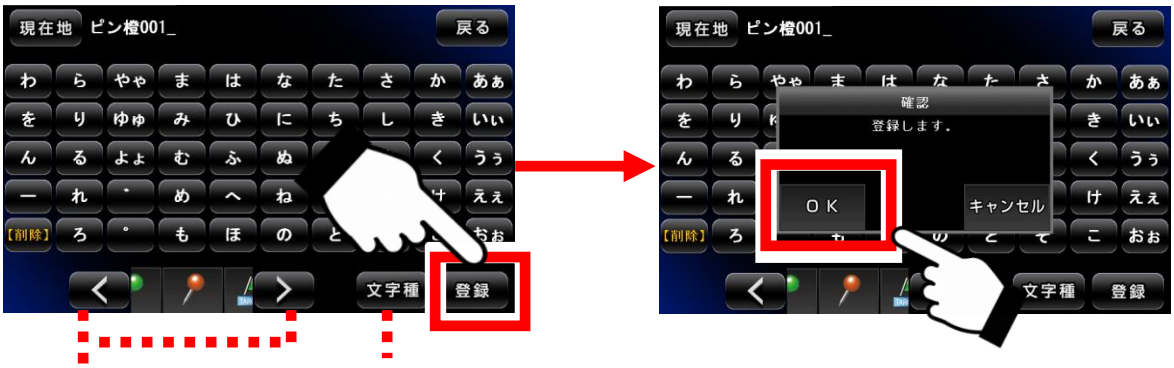
地点登録の方法について解説します。

地図の場所を記録しておくことが出来ます。記録しておけば、ナビメニューの登録地点から、その場所へすぐに移動することが可能になります。

① 登録したい場所を中心にして「地点登録」ボタンをタッチします。

② 登録画面のアイコンと名前を編集して、「登録」ボタンをタッチします。確認画面で「OK」ボタンをタッチします。

- アイコン変更用左右ボタンでお好みのアイコンを選ぶ。
- 文字種ボタンで文字の種類を選ぶ。
- 【削除】ボタン、文字ボタンを使用して文字を入力する。



アイコン変更用
左右送りボタン

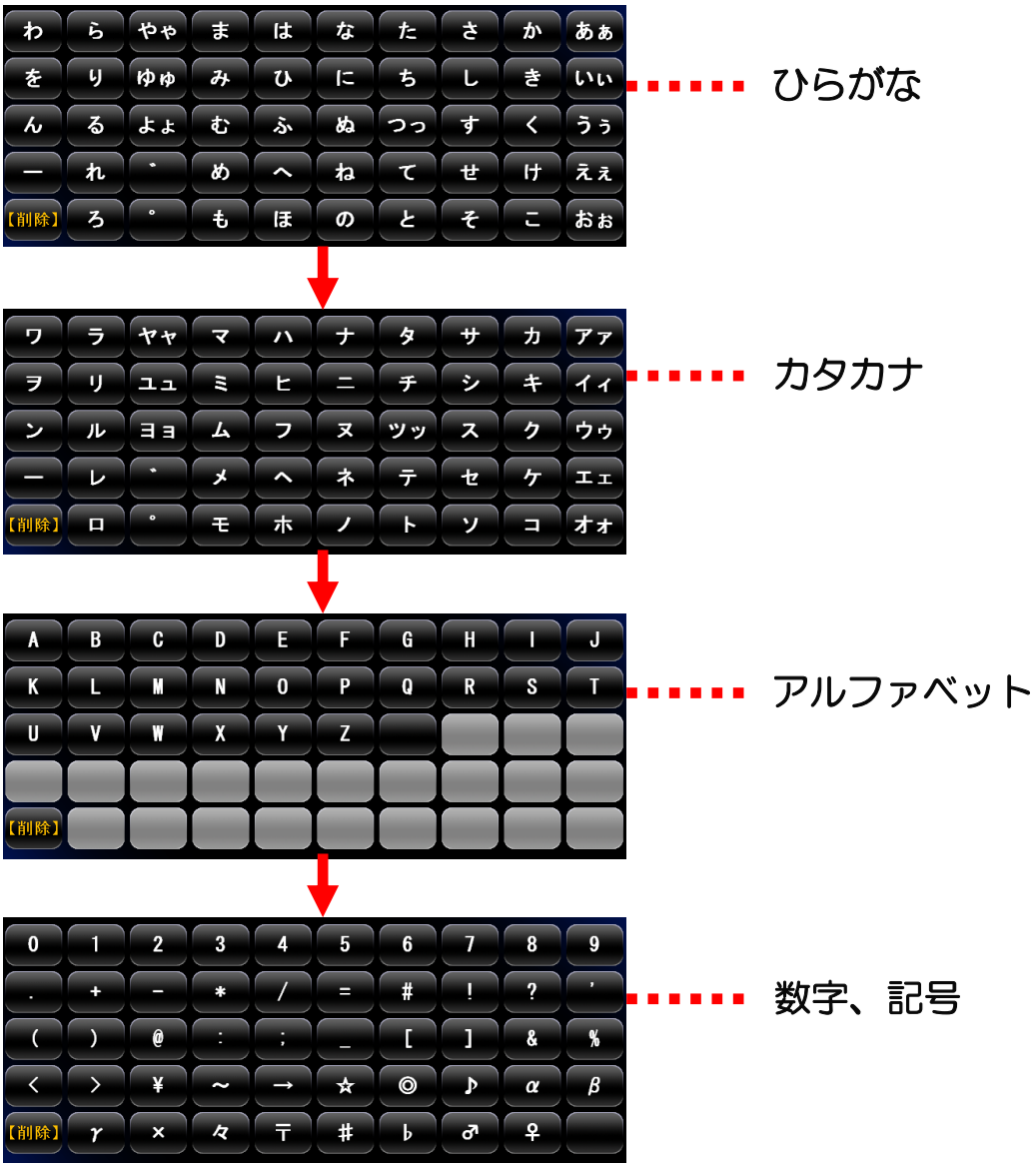
文字種変更

③ 登録が完了すると、地図に移動してアイコンと名前の吹き出しが地図に表示されます。

アイコンと吹き出し

●文字種の切り替えについて

地点登録の登録画面の下にある「文字種」ボタンをタッチするたびに、
文字種が切り替わります。



（注）入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

※入力パネルの使い方は「3-20.入力パネルの使い方」解説ページを
ご覧下さい。

※登録地点の確認や地図への移動、編集や削除については、ナビメニュー
の「3-17-4.登録地点」解説ページをご覧下さい。

3-15. 自宅の登録 ・ 自宅へ戻る

自宅の登録および自宅へ戻るについて解説します。

自宅を登録しておくと、すばやく自宅までのルート検索が行えます。

●自宅を登録する

① 自宅でGPSを受信して現在地を表示します。

自宅の玄関先、もしくはベランダなど、見晴らしが良い屋外でGPSを受信して、地図画面に現在地を表示して下さい。

② 地図画面の中央下にある「自宅を登録」ボタンをタッチします。

登録を確認する画面が真ん中に表示されます。

「自宅を登録」ボタン

確認画面

③ 確認画面の「OK」ボタンをタッチします。

家のアイコンが地図に表示されて自宅の登録が完了し、「自宅を登録」ボタンは表示されなくなります。

自宅が登録されると、
「自宅を登録」の表示は消える。

●自宅の登録を変更する場合

① 新しい自宅の場所を中心にして、画面の右の「 ⏏ 」ボタンをタッチした後、[地点登録」ボタンをタッチします。

② 登録画面の下にあるアイコンをひとつ左に移動させて「赤い屋根の家」に変えます。

赤い屋根の家

※登録名は「自宅」に固定されて、入力パネルが無効になります。

③「登録」ボタンで確認画面を出し、「OK」ボタンをタッチします。

④ 登録が完了すると、地図に移動して、赤い屋根の家アイコンと「自宅」の吹き出しが地図に表示されます。

アイコンと吹き出し

●自宅に戻る

①「ナビ用パネル」の「自宅へ戻る」ボタンをタッチします。

（注）自宅が登録されていないと、ルート検索できません。

② 自宅で登録した場所が自動的に目的地になり、ルート検索パネルが表示されます。ルートの種類を選んで検索してください。

●自宅の削除について

登録した自宅を削除することは出来ません。別の場所に設定すると、そちらに自宅が移動します。必ず地図上にひとつ存在することになります。

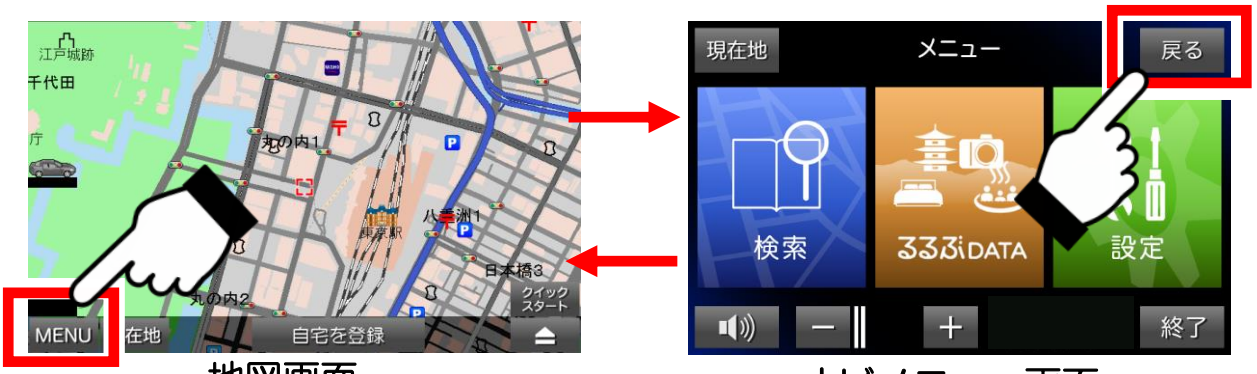
※ただし、設定画面で「出荷状態に戻す」を行うと、自宅も削除されます。

3-16. ナビメニュー

ナビメニューの機能について解説します。

●ナビメニューと地図画面の切り替え

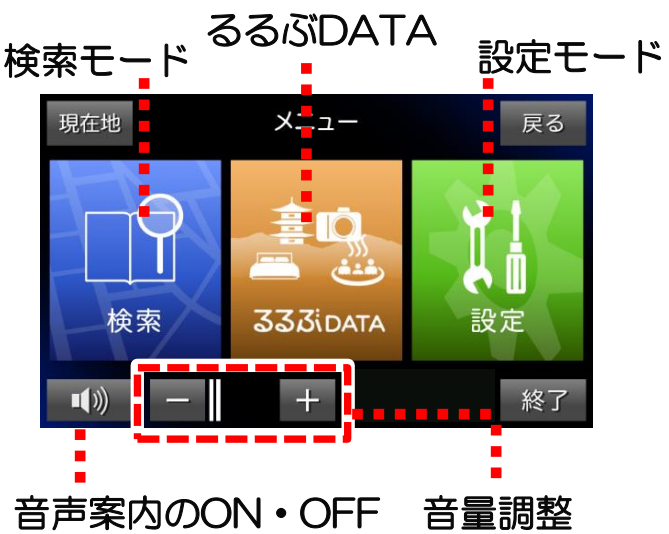
地図画面の左下にある「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニューになります。またナビメニューの右上の「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。

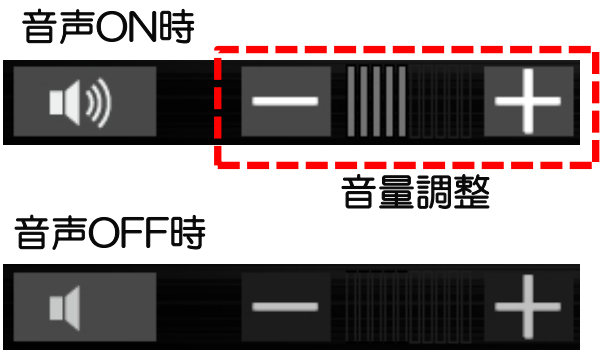


地図画面　　ナビメニュー画面

●ナビメニュー画面

「検索」「るるぶDATA」「設定」ボタンをタッチすると、それぞれの操作画面へ移動します。
「音声ON」ボタンをタッチすると、ナビ走行中の音声案内のONとOFFの切り替え、横の「＋」「－」をタッチで音量調整が出来ます。





<<音量調整>>

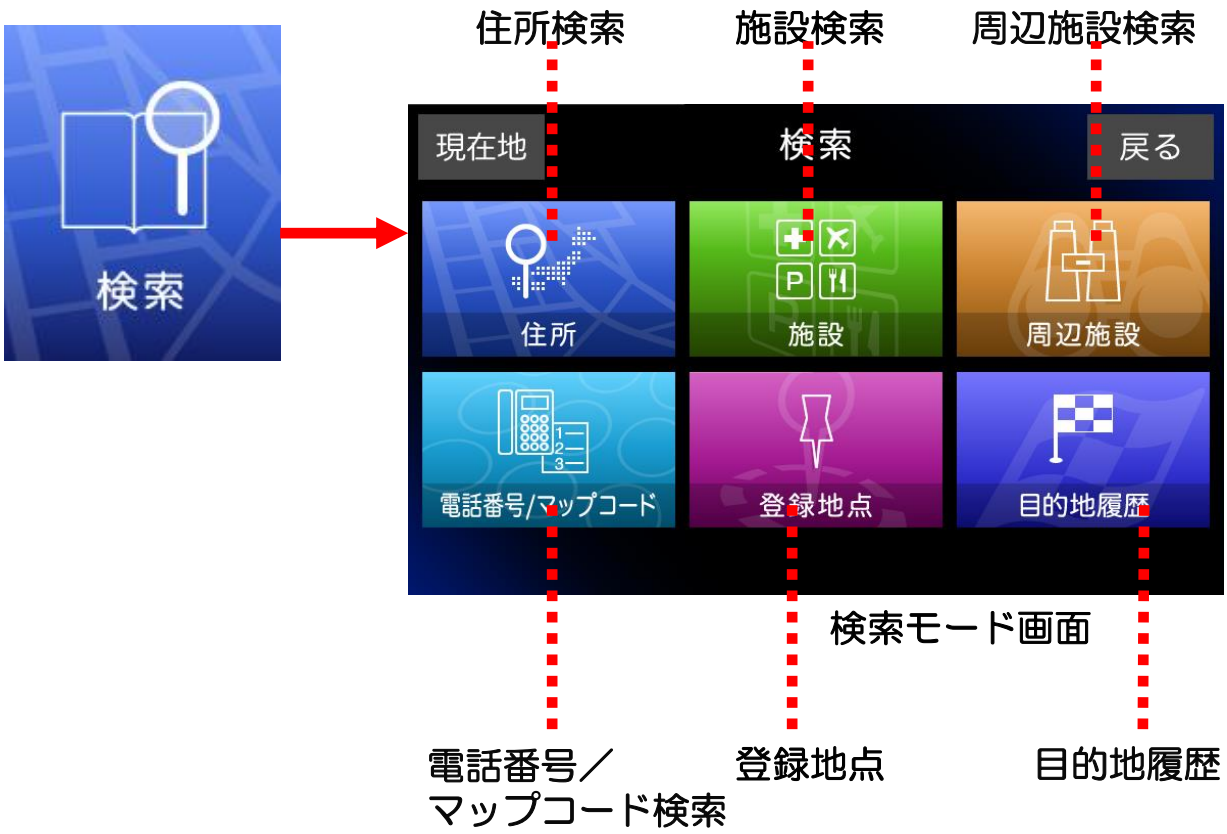
①地図画面の「MENU」をタッチして
　メニューを表示
②「＋」:音量を大きくする。
　「－」:音量を小さくする。
　「🔊」:音を出す。
　「🔇」:音を消す。（消音状態）

（注）「音声**ON**」の表示で音量がゼロでないときに、ナビ走行中の音声案内が流れないときは、本体の主音量がゼロでないかご確認ください。
本体の主音量の設定は、本体の設定画面の説明ページをご覧下さい。

検索モードの機能について解説します。

●検索モードの画面

検索モードでは、以下の操作が行えます。
住所、施設、周辺施設、電話番号／マップコードの検索。登録地点と目的地履歴の一覧表示と編集。



各パネルとタッチすると、操作画面へ移動します。
「現在地」ボタンをタッチで地図画面・「戻る」ボタンをタッチで
ナビメニューへ移動します。

※「周辺施設検索」については、地図画面の「周辺施設検索」解説ページ
をご覧下さい。同じ機能になります。

3-17-1. 住所検索

住所検索の方法について解説します。

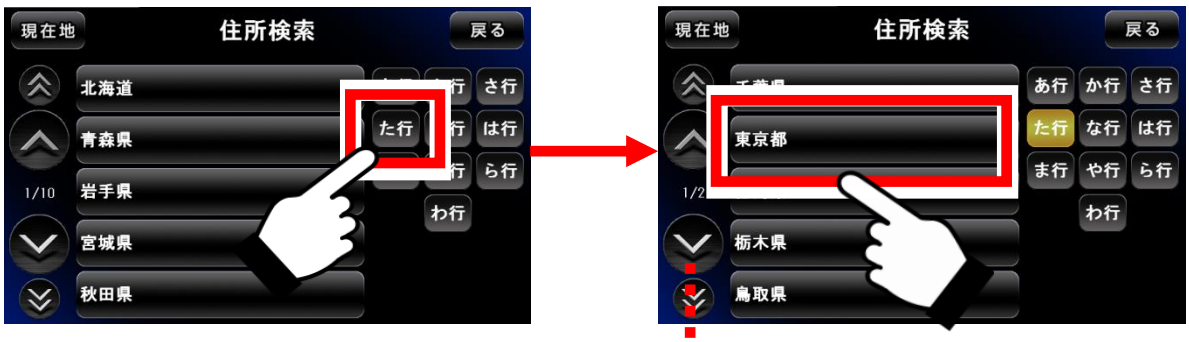
住所検索は右の入力パネルをタッチしながら、
「都道府県→市区町村→町丁目→番地（号）」の順で絞り込みます。

① 検索モード画面の中の「住所」ボタンをタッチして、住所検索画面へ移動します。

例として、
「東京都八王子市元本郷町3-24-1」を検索します。

② 都道府県の「東京都（とうきょうと）」を探します。

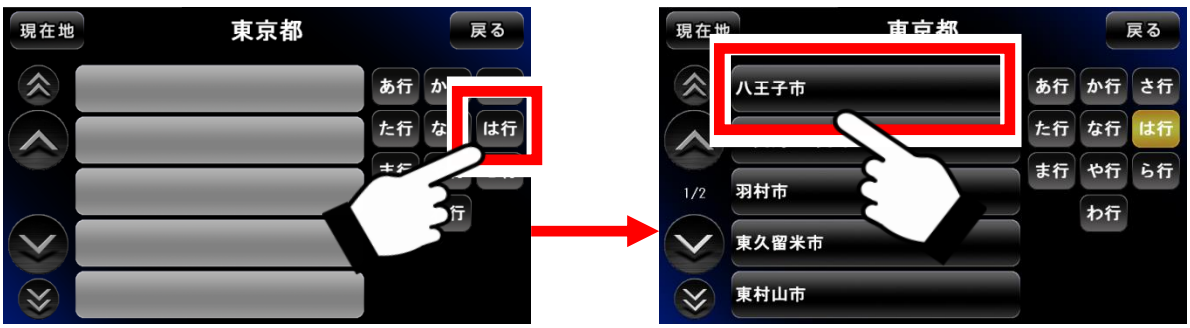
入力パネルから「た行」をタッチすると、候補のリストが表示されます。
「リスト移動」ボタンでリストを移動して、「東京都」を探します。
見つかったら、それをタッチします。



リスト移動
（端の「<<」「>>」で10ページ分移動）

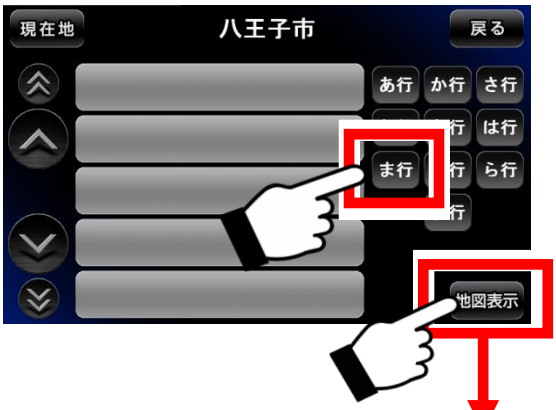
③ 市区町村の「八王子市（はちおうじし）」を探します。

入力パネルから「は行」をタッチして「八王子市」を探します。
見つかったら、それをタッチします。



④ 町丁目の「元本郷町（もとほんごうちょう）３丁目」を探します。

入力パネルから「ま行」をタッチして「元本郷町３丁目」を探します。
見つかったら、それをタッチします。



住所入力の途中でも地図移動が可能ならば、右下に「地図表示」ボタンが現れます。
「地図表示」ボタンをタッチするとその場所の地図へ移動します。

⑤ 番地（号）の「 ２４－１」を入力します。

番地まで来ると入力パネルが数字に変わりますので、「２４－１」と順番にタッチしていきます。入力が終わり、「地図表示」ボタンをタッチすると、その住所の地図へ移動します。

吹き出し

※住所検索データは、全てをカバーしているわけではありません。
　住所名が登録されていない地域もございます。
その場合「入力された住所が見つかりません。〇〇で地図を表示しますか？」と代わりの住所が提示されます。予めご了承下さい。

※市区町村の次に番地がくるような住所がある場合、
［例］茨城県龍ケ崎市120
市区町村を選択した後の画面（④）に「番地入力」ボタンが表示されます。
「番地入力」ボタンをタッチすると、このような住所を入力することができます。

施設検索の方法について解説します。

施設検索は入力パネルでキーワードを指定して検索します。検索結果は５０音順で表示されます。さらに、ジャンルで絞り込むことができます。

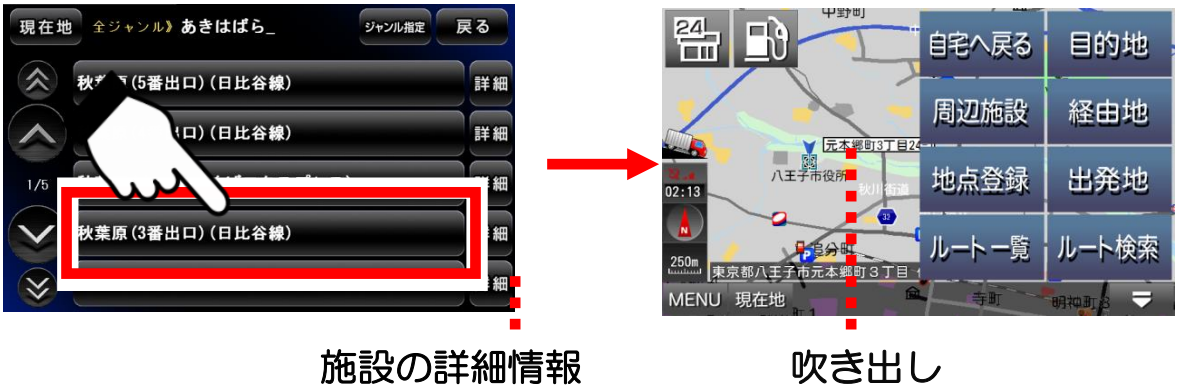
① 検索モード画面の中の「施設」ボタンをタッチして、施設名称検索画面へ移動します。

例として、「秋葉原駅」を検索します。

② 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

「≪履歴」ボタンから過去の検索履歴（最大５件）を表示できます。
検索方法を「先頭一致・部分一致」の２つから選べます。

③ 検索の結果から目的の場所をタッチすると、地図に移動します。



※施設データは、全てをカバーしているわけではありません。
　目的のデータが登録されていない場合もございます。
また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

施設検索の方法（ジャンルで絞り込む）について解説します。

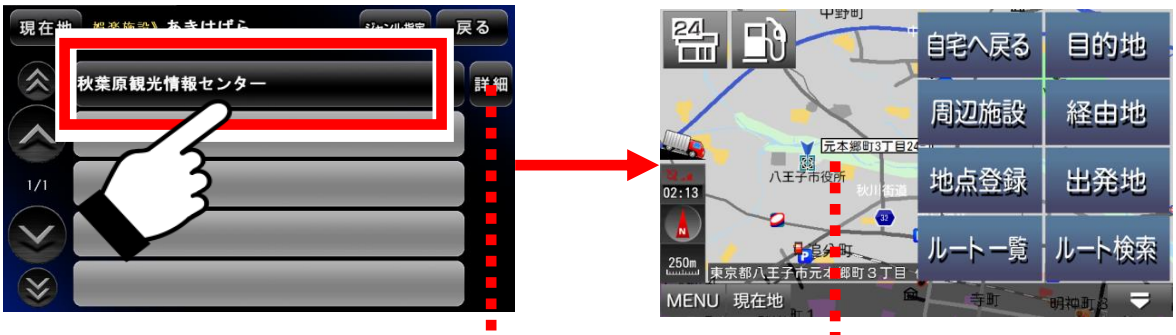
例として、「秋葉原駅」をジャンル「交通機関・道路施設」で絞り込んで検索します。

① 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

入力パネル画面

② 「ジャンル指定」ボタンをタッチして、「交通機関・道路施設」をタッチします。

③ 検索結果が「交通機関・道路施設」で絞り込まれます。目的の場所をタッチすると、地図に移動します。



施設の詳細情報　　吹き出し

3-17-3. 電話番号／マップコード検索

電話番号とマップコードによる検索の方法について解説します。

電話番号とマップコード検索は入力パネルから電話番号、マップコードを入力して検索します。

① 検索モード画面の中の「電話番号／マップコード」ボタンをタッチします。さらに、電話番号とマップコードどちらかのボタンをタッチします。

電話番号／マップコード検索画面

② 入力パネルから電話番号検索なら電話番号を、マップコード検索ならマップコードを入力して、「検索」ボタンをタッチします。

電話番号とマップコードどちらでも入力するデータが異なるだけで、検索方法は同じです。

※電話番号は、ハイフンを付けても付けなくても検索ができます。

※個人情報保護の観点から、個人宅の電話番号検索は出来ません。

③ 検索の結果、該当するデータがあれば「地図表示」ボタンをタッチして地図に移動します。

※電話番号データは、全てをカバーしているわけではありません。
　目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

●マップコードに関して

「マップコード」及び「MAPCODE」は（株）デンソーの登録商標です。
簡単な数字のコードで、緯度経度を表現することが出来る技術です。

また、マップコードについてのお問い合わせには対応しかねますので、
ご了承下さい。

地図画面で地点登録した内容を確認、編集する方法について解説します。

●登録地点の地図へ移動する

① 「検索モード」の中の「登録地点」ボタンをタッチして、登録地点画面へ移動します。

② 目的の登録地点のアイコンを右のパネルから選び、タッチします。

③ そのアイコンで登録されている地点がリストに表示されます。その中から目的の登録地点をタッチすると、それがある地図へ移動します。

アイコンと同じ吹き出し2個

※ 同じ吹き出しが2個重なるのは、検索結果による吹き出しと、地点登録に保存された吹き出しが同じためです。登録地点からの地図表示は必ずこうなります。

※ 右下の「target」と書いてある緑色の旗のアイコンには、最初からいくつかの地点が登録してあります。

●登録地点を削除する

① 登録地点画面の中で削除したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。

登録地点画面

② 編集画面の左下にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

編集画面　　確認画面

③ 登録地点画面に戻り、削除が完了します。

登録地点画面

●登録地点の名前を変更する

① 登録地点の画面の中で変更したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。

登録地点画面

② 編集画面の入力パネルを操作して名前を変更します。

編集画面

※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧下さい。

③ 変更が完了したら「登録」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

確認画面

④ 登録地点画面に戻り、変更が完了します。

目的地履歴について解説します。

目的地履歴は、設定した目的地を履歴表示します。
・ナビメニューで検索した結果の場合は、検索した名称が履歴されます。
・地図上をタッチして設定した目的地の場合は、概要住所が履歴されます。

●目的地履歴から地図へ移動する

① 「検索モード」の中の「目的地履歴」ボタンをタッチして目的地履歴画面へ移動します。

② 目的地履歴として保存されているリストに表示されます。
その中からタッチすると、それがある地図へ移動します。

目的地履歴画面

吹き出し

●目的地履歴を削除する

① 削除したい目的地履歴の横にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

目的地履歴画面

確認画面

るるぶDATAの検索について解説します。

るるぶDATAの検索では、観光スポットや宿泊施設、温泉施設などを探すことができます。
「地域」で探す方法と「名称」で探す方法の２通りあります。

●るるぶDATAを利用する

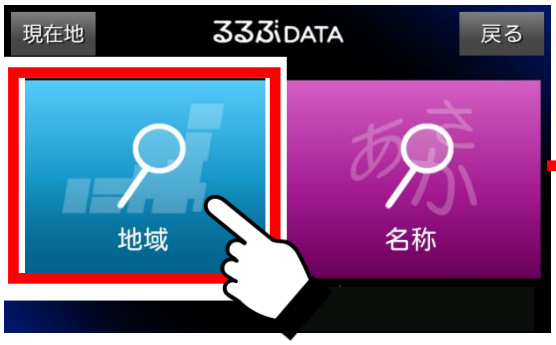
① ナビメニュー画面の「るるぶDATA」ボタンをタッチすると、「地域」「名称」の何れかを選択する画面が表示されます。

ナビメニュー画面

検索方法選択画面

●地域で探す

① ナビメニュー画面で「地域」ボタンをタッチすると、「観光」「宿泊」「温泉」のジャンルを選択する画面が表示されます。

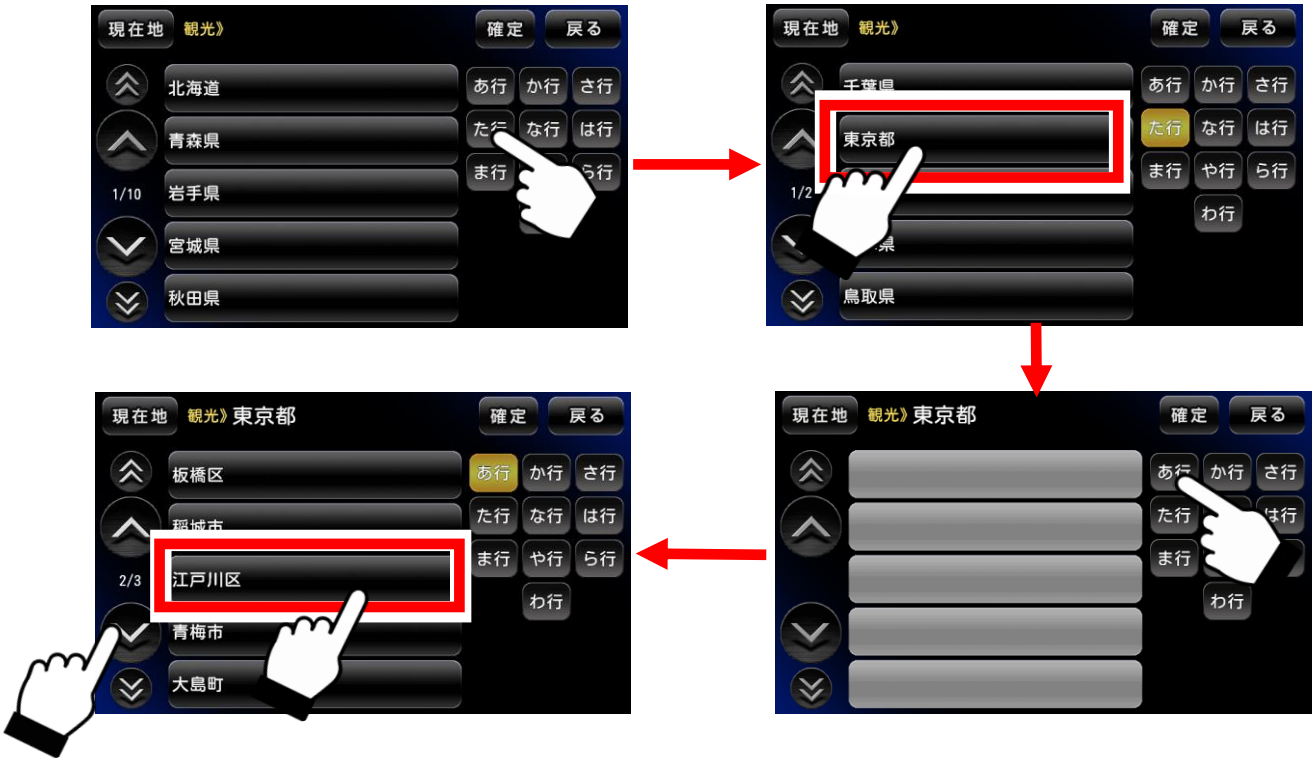


検索方法選択画面

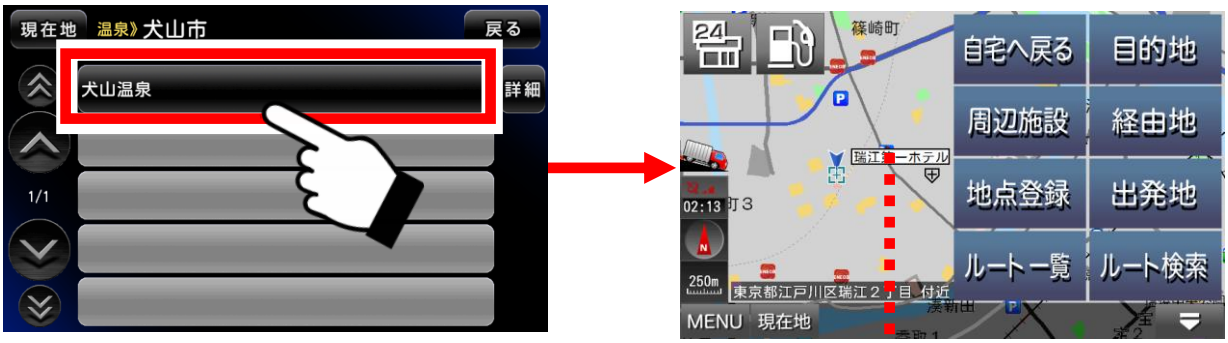
ジャンル選択画面

② 観光/宿泊/温泉を選択後、検索対象を地域で絞込みます。
「あ行」～「わ行」ボタン、「ページ移動」ボタンを操作し、
都道府県、市区町村の順に絞込んでください。

「東京都江戸川区」で絞込む場合
1 「た行」ボタンをタッチします
2 結果リストの「東京都」をタッチします
3 「あ行」ボタンをタッチします
4 「ページ移動」ボタンで２ページ目を表示し、「江戸川区」
をタッチします



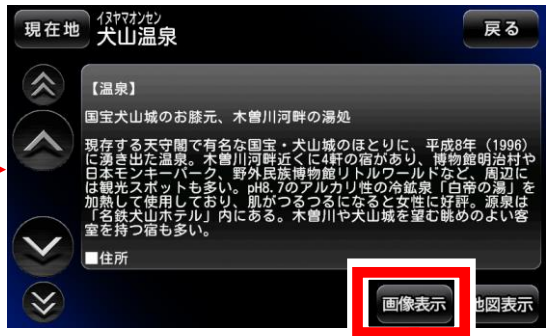
③ 絞込みが終わるか、途中で「確定」ボタンをタッチすると、
検索結果のリストが表示されます。
リストをタッチすると、そのスポットの地図へ移動します。



検索結果リスト画面　　吹き出し

④ リストの横にある「詳細」ボタンをタッチすると、そのスポットの詳細情報画面を表示します。
「画像表示」ボタンをタッチすると、そのスポットの画像を見ることができます。

検索結果リスト画面



詳細情報画面

※観光スポットや宿泊施設、温泉施設など、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが登録されていない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

●名称で探す

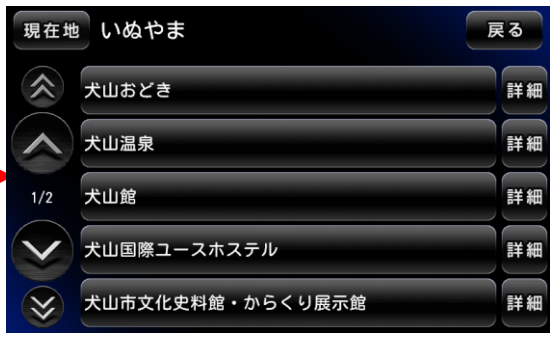
① ナビメニュー画面で「名称」ボタンをタッチすると、入力パネルが表示されます。

検索方法選択画面

入力パネル

② 入力パネルに観光スポット、宿泊施設、温泉などの読みを入力し、対象スポットを検索してください。
読みを入力したら「検索」ボタンをタッチし、検索結果のリストを表示します。

入力パネル



検索結果リスト画面

※検索結果リスト画面以降の操作は、「地域で探す」③、④と同じです。
※「≪履歴」ボタンから過去の検索履歴（最大５件）を表示できます。
※検索方法を「先頭一致・部分一致」の２つから選べます。

ナビの設定について解説します。
ナビメニュー画面の「設定」ボタンをタッチすると「基本設定」画面が表示されます。

設定ボタン

●基本設定

「基本設定」の中で有効にしたい設定をタッチして、チェックを付けます。

最初の頁へ
前頁へ
次頁へ
最後の頁へ
ナビ走行中の交差点拡大
交差点案内の
看板と矢印の切替え
ナビ走行中に目的地方向線
地図表示の変更
地図色の変更

基本設定画面（1ページ）

地図色の変更方法
ＥＴＣ使用の有無
地図の文字サイズ
地図のアイコンの量
自車アイコン種類

基本設定画面（2ページ）

※「地図色自動」を自動にすると、時刻によって地図色を自動的に切り替えます。地図色を昼に固定する場合は、「地図色」を昼、「地図色自動」を手動に設定します。

●アプローチチャイム設定

登録地点や目的地をターゲットに選んで、距離を設定しておくと、現在地がその範囲に入ったとき、チャイムでお知らせします。

①「設定地」ボタンをタッチします。ターゲットにしたい登録地点を選び、タッチして上部の「設定地≫」に表示させます。
表示されたら「戻る」ボタンをタッチして戻ります。

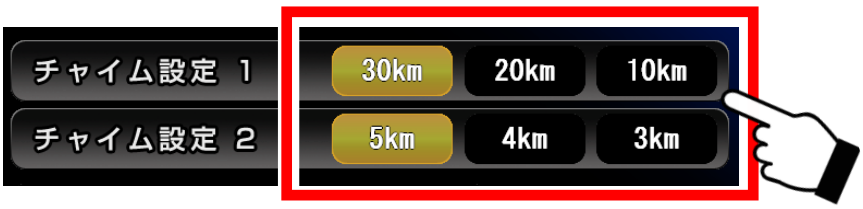
アプローチチャイム設定画面（3ページ）

ターゲット選択画面　解除

ターゲットの解除は、「ターゲット選択画面」で右下の「解除」ボタンをタッチします。「設定地≫」のところが空白になります。

② チャイム設定１、２の距離のところをタッチして、チャイムを鳴らす距離を設定します。

距離を「10km」に指定している場合、ターゲットに対して
10km、9km、8kmと近付いた時に、3段階でチャイムを鳴らします。



アプローチチャイム設定をしてナビ走行を行うと、自車からターゲットまで青い点線が引かれます。
また、右下にターゲットまでの距離を一定間隔で表示します。

ターゲットまでの距離を
一定間隔で表示

③ 目的地をアプローチチャイムのターゲットに含める。

アプローチチャイム設定画面の右下にある「目的地」ボタンをタッチして有効にすると、目的地に設定している地点もターゲットになります。

アプローチチャイム設定画面（3ページ）

目的地のターゲット設定

OFF時
（背景が黒色）

ON時
（背景が黄色）

目的地のターゲット解除は、「目的地」ボタンをもう1度タッチします。
タッチする毎に、ターゲット設定のオン、オフが切り替わります。

●初期化

出発地、目的地、経由地を削除

出荷状態に戻す

アップデート

初期化画面（4ページ）

「出発地／目的地を削除」を行うと、出発地、目的地、経由地を削除します。

「出荷状態に戻す」を行うと、出発地、目的地、経由地、登録地点（自宅含む）や目的地履歴が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。

「アップデート」は、現時点で使用することはありません。
バージョンアップが可能になった段階で使用するボタンです。
バージョンアップの状況や操作方法については、サポート用ホームページでお知らせできる段階になりましたら案内します。

入力パネルの使用方法について解説します。

●入力パネル

ナビメニューから施設検索でキーワードを入力したり、登録地点の登録名を編集したりする場合は、この入力パネルをタッチして行います。

文字の削除は、左下にある黄色の「【削除】」をタッチします。

小さい「ゅ」は、「ゆ」をすばやく2回タッチします。

濁音の「が」は、「か」をタッチした後、「゛」をタッチします。

文字をタッチすると、上部に吹き出しが表示されます。

（注）入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

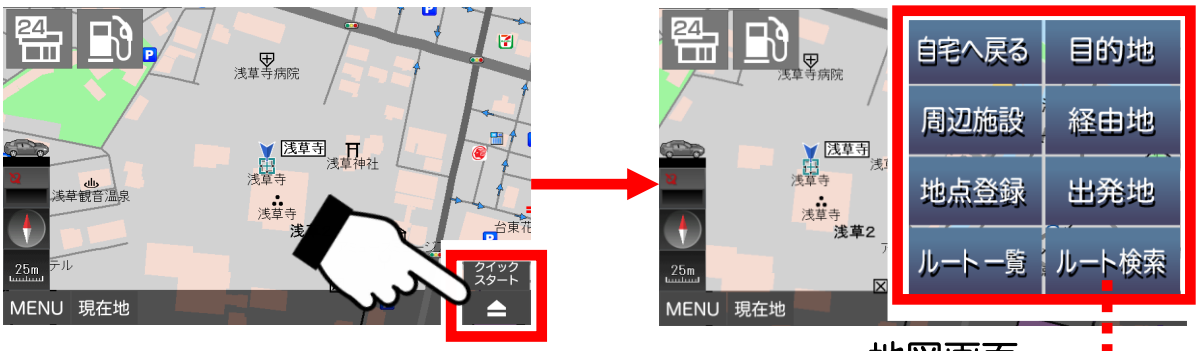
3-21. ウォーキングナビ

ウォーキングナビについて解説します。設定の手順は、ナビ走行（デモ走行）と全く一緒です。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



地図画面

ナビ用パネル

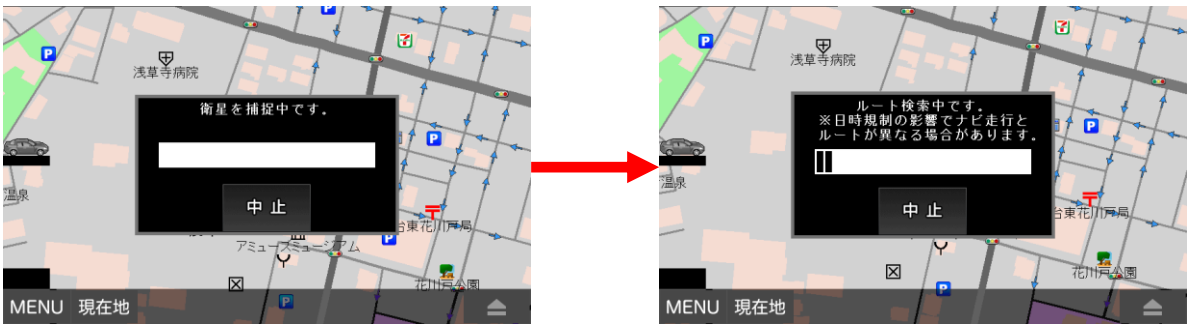
③「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。

ゴールの旗　ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチしてチェックを付けて
ルートの種類にある「ウォーキング」をタッチします。

⑤ 現在地から目的地までのルート検索が始まります。



現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。

※ 現在地から目的地まで直線が引かれるので、目的地または経由地の方向が視覚的に分かり、大変便利です。

●ウォーキングナビの注意点

※「ウォーキング」を選んだ場合、徒歩走行に合ったルートになります。

※ ナビ中に音声案内は流れません。また、車両による道路交通規制の表示もされません。ご注意ください。

※ あくまでも歩行の目安として、実際の道路規制に従って、歩行してください。

※ ナビ画面をご覧になる際やナビ操作をするときは必ず立ち止り周囲の安全を確認してから行ってください。

※ ウォーキングモードは、自転車に使用できません。また、自転車専用道路地図は搭載しておりません。

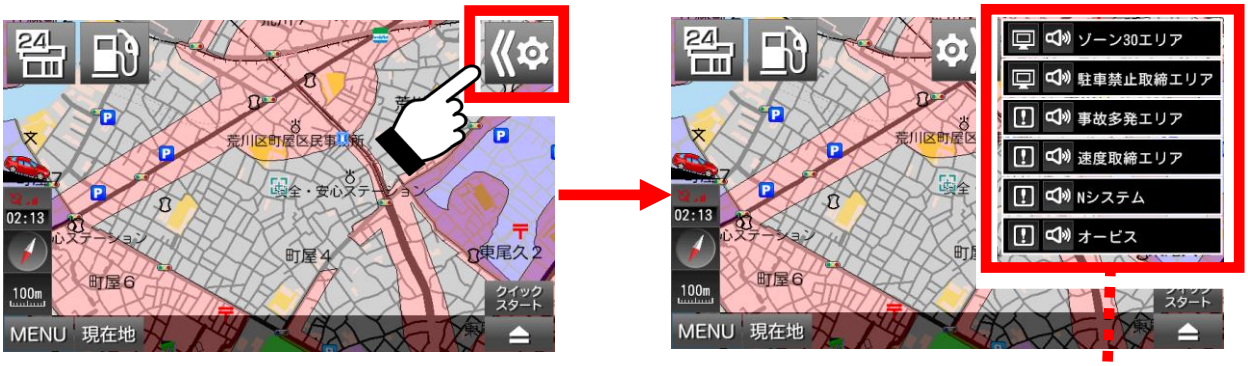
3-22. 交通安全案内（安全運転支援情報表示機能）

交通安全案内について解説します。

本ナビは様々な交通安全情報が収録されおり、その交通安全情報をもとに案内・警告して運転をサポートします。

●交通安全案内の切替

地図画面右上の「交通安全案内切替」ボタンをタッチすると、交通安全案内の切替え設定が表示され、案内する／しないを切替えることができます。



※交通安全案内の切替えは、現在地表示中やナビ走行中は行えません。
その場合、地図を２度タッチして現在地表示やナビ走行を停止させてください。

地図上にゾーン３０エリア、駐車禁止取締エリアの表示する／しないを切替えることができます。

事故多発エリア、速度取締エリア、Nシステム、オービスに近づいたとき、地図画面左側の警告画像および地図上のアイコンの表示する／しないを切替えることができます。

ゾーン３０エリア、駐車禁止取締エリア、事故多発エリア、速度取締エリア、Nシステム、オービスに近づいたとき、または、エリアの中にいるとき、音声案内（警告）をする／しないを切替えることができます。

音声案内する

音声案内しない

●交通安全情報について

※下記の各交通安全情報に示す全ての場所が収録されているわけではありません。

【ゾーン３０エリア】
生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした区域で、時速30キロの速度規制となっている区域

【駐車禁止取締エリア】
各警察署が定めた重点的に駐車禁止を取り締まる区域または路線

※路線については音声案内のみで、表示は行いません。

【事故多発エリア】
過去に事故が多発した場所

【速度取締エリア】
過去によく速度取締りが行われた場所
※時間・場所が不定で行われる速度取締り

【Nシステム】
道路上に設置された自動車のナンバーを読み取る装置

【オービス】
道路上に設置された自動車の速度を計って記録する装置

※本機能の情報は、季節、時間やその他の環境や状況によって変わる場合があります。
安全運転の参考にしていただき、現場状況を優先してご利用ください。

Q、現在地が表示されません。

現在地はGPSを受信して表示しますが、数分程度かかる場合もあります。
GPSの電波が上手く受信出来ていない可能性もございますので、衛星配置図を確認して、受信状態の良い場所へ移動する等してみて下さい。

Q、ルート検索に失敗します。

ルート検索に失敗する場合は、出発地と目的地をずらす等して再度、検索してみて下さい。また、実際のナビ走行では、出発地はGPSから受信した現在地になりますので、GPSの受信状態を確認してみて下さい。

Q、ルート検索の結果がいつも通っているルートと違います。

ルートはナビソフトが計算した結果を表示しています。ルートによってはどうしてもお客様が望まれる結果にならない場合もございます。 ３種類あるルートの計算方法を変える等してみて下さい。
結果のルートを変更する事は出来ませんので、予めご了承下さい。

Q、自車とナビとの位置と進行方向が違うときがあります。

GPSのアンテナの性能や受信状態によって、位置にずれが生じたり、進行方向が安定しない場合がございます。予めご了承下さい。

Q、検索しようとしても目的の場所が出てきません。

検索のデータが全てをカバーしていませんので、お客様が探している目的の場所が表示されない場合がございます。
その場合お手数でございますが、近くの場所の地図を検索してから地図上をタッチして目的の場所へ移動する等して下さいますようお願い申し上げます。

Q、音声が流れません。

ナビメニューの左下が「音声ON」の表示でボリュームがゼロでないことと、本体の音声がミュート状態（無音）になっていないか、このふたつを確認して下さい。

Q、検索したルートに違和感がある。

ナビのルート計算は使用する道路の規模や施設などを参考になるべく違和感の無いように本線優先でのルート案内を判断する様に作成しておりますが、例えば現在走行中の道路に対し側道に案内をして再度現在走行中の道路に戻されるルートを引く場合など実際の走行経験から考えますと違和感があるルートになる場合があります。

Q、20XX年の地図とあるのに、同年に開通した高速道路が地図にありません。

開通日と地図のリリース日が近くて、収録に間に合わなかったためです。
地図データを更新するには、実地調査やデータ作成、さらに整合性のチェックなど、ある程度の期間を要するため、実質それより少し前の状態が収録されているとお考え下さい。
逆に、完成予定の道路を先取りして収録するケースもございますので、地図データの更新が必ずしも一律ではないことを予めご了承下さい。

Q、地図の道路の色を変えることはできますか。

道路に限らず、地図の配色をユーザーが変更することはできません。
見えずらい場合は、昼モードと夜モードを切り替えたり、地図の縮尺を変えたりして下さい。

Q、地図に道路や交差点の名前を表示する方法はありますか。

地図に道路や交差の名前を表示することはできません。そのような地図になっています。
ただしルートを引いてナビ走行をしているときに、現在走行中の道路や、その先の交差点にデータが存在する場合に限り、画面下に道路名、画面右上に交差点名が表示されます。

本製品には、以下の制限事項があります。

①本製品は、ＧＰＳの測位によりナビゲーションを行っています。
従って、ＧＰＳの測位が出来ない場所（室内や電波の入りずらい屋外等）
では利用できません。

②ＧＰＳの受信状況により車両の位置が地図に描かれた道路上に正しく
のらない場合があります。

③特にルートを設定しないフリー走行の場合、道路からはみだしたり、実際
とは異なる道路上を走行する場合があります。

④ルート案内はあくまでも目安であり、日時規制を考慮しています。
ただし、車種は考慮していません。

⑤目的地までの距離、所要時間、到着予定時刻は、あくまで目安として
ご利用ください。

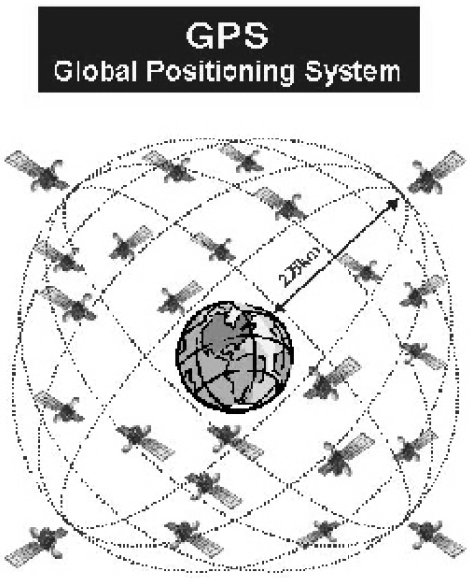
⑥フェリーを使ったルート案内は行っていません。

⑦細街路もルート検索の対象です。ただし、細街路の整備状況は地図データ
によるため、ルート検索の対象外となる細街路もあります。

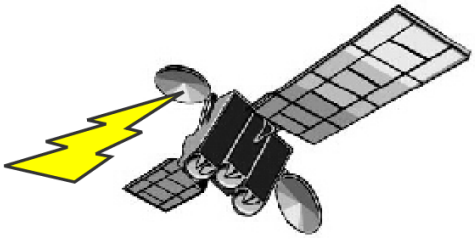
⑧自動リルートが行われるタイミングは状況により異なります。ルートから
離れた距離によって一律に行われるわけではありません。

⑨一般道優先でルートを引いた場合、一般道を優先しますが、必ずしも一般道
だけでルートを引くわけではありません。

⑩本機のルート案内において、時間規制表示等の交通ルールが定められている
場所では、そこでの交通ルール表示に従って走行してください。



【GPS】Global Positioning System
人工衛星を使った全地球測位システム。
宇宙部分（6つの異なる軌道に24の衛星NAVSTAR）、制御部分（5つのモニター局、1つの主制御局、3つのアップロード局）、ユーザー部分（GPS受信機）で構成されている。



【NAVSTAR】NAVigation satellite Timing And Rangin

GPS衛星に付けられた名前。NAVSTAR衛星は、軌道高度約20.000km、周回周期0.5恒星日（約11時間58分）、6枚の軌道面に4個ずつ合計24個の衛星で全システムを構成し、複数のセシウムおよびルビジウム原始時計を搭載している。

【アルマナックデータ】Almanac Data

利用可能な全衛星の概略の軌道周回情報で、1度取得すれば、1週間程度利用できる。

【エフェメリスデータ】Ephemeris Data

現在位置を担当する観測衛星の詳細な軌道周回情報で1度取得すれば、1時間程度利用できる。エフェメリス・データを利用して衛星の位置を求め、現在位置を計算する。

【ホットスタート】Hot Start

エフェメリスデータ、マルナマックデータ、時刻データ、前回測位データが有効な状態で測位を開始すること。

【ウォームスタート】Warm Start

詳細な軌道データはないが前回測位時の衛星捕捉に関するデータを利用して、衛星の捕捉を開始することで衛星の捕捉時間を短縮できます。

【コールドスタート】Cold Start

前回の測位から1ヵ月以上過ぎている場合や、前回の測位地点から500km以上離れた場合でGPSを行うときは、新しく衛星軌道情報を収得して初期状態から測位を開始する。

サポートセンターのお問い合わせ先は下記になります。
※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意願います。

機器に関する問い合わせ	
電話	042-686-3645
営業時間	平日10：00～17：00 （土日祝祭日は休み）

地図情報、ナビ操作に関する問い合わせ	
サポートページ	http://navi-app.shop-pro.jp/
E-MAIL	shop@navi-app.shop-pro.jp
電話	03-6811-6666
FAX	03-3525-4151
営業時間	平日10：00～17：00 （土日祝祭日は休み）

〈販売元〉ダイアモンドヘッド株式会社
〒108-0073 東京都港区三田 2-7-13 TDS 三田ビル6